



いすみエリア

～いすみ鉄道～





いすみ鉄道
 房総半島のいすみ市・大多喜町をまたがって走る路線距離26.8kmのいすみ鉄道は、ほとんどが1両編成で走る風情あるローカル線です。車窓からは情緒あふれる沿線の風景や、いつかどこかで見たようなのどかな日本の原風景と出会うことができます。

きこがこ下残された

いすみエリア

日本の原風景

万木城跡

美濃国からきた土岐氏が築いた、源頼朝を代表する山城の跡です。現在は公園となっており、多くの人が天守閣をかたどった展望台からの景色を楽しんでいます。満開のツツジにあわせて300本の桜のぼりがのびのびとみく毎年5月の万木城まつり。その異様な風景の迫力をぜひその目で実感してください。



源氏ぼたるの里

清らかな水が流れる山田川周辺には、源氏ぼたるが多く生息しています。いすみ市では、このエリアを「源氏ぼたるの里」として指定し、地元と一体となって、大切に保護しています。5月下旬から月上旬のシーズンには、多くの人がぼたるの幻想的な姿の真実を驚かされています。



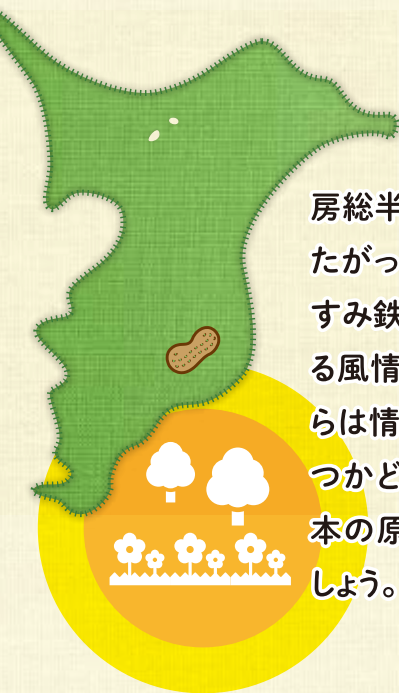
いすみエリア

そこかしこに残された

日本の原風景

いすみ鉄道

房総半島のいすみ市・大多喜町をまたがって走る路線距離26.8kmのいすみ鉄道は、ほとんどが1両編成で走る風情あるローカル線です。車窓からは情緒あふれる沿線の風景や、いつかどこかで見たようなのどかな日本の原風景と出会うことができます。



万木城跡

美濃国からきた土岐氏が築いた、房総を代表する山城の跡です。現在は公園となっており、多くの人々が天守閣をかたどった展望台からの景色を楽しんでいます。満開のツツジにあわせて300本の鯉のぼりがのびのびと泳ぐ毎年5月の万木城まつり。その勇壮な風景の迫力をぜひその目で実感してください。

源氏ぼたるの里

清らかな水が流れる山田川周辺には、源氏ぼたるが多く生息しています。いすみ市では、このエリアを「源氏ぼたるの里」として指定し、地元と一体となって、大切に保護しています。5月下旬から6月上旬のシーズンには、多くの人々がぼたるの幻想的な光の舞に心を奪われます。

